



令和3年11月4日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel : 03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」開催方法の変更について

JST（理事長 濱口 道成）は、令和3年12月3日（金）から12月5日（日）に兵庫県姫路市での開催を予定していた「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」について、12月3日（金）に各都道府県会場で分散開催とすることを決定しました。

同大会では当初、全国の代表チームが姫路市の会場に集合して競技（筆記と実技）を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して、開催形式を各都道府県の会場での分散開催とし、筆記競技のみを行うこととしました。競技は、通常の全国大会と同様、公正性担保のため各会場に競技監督者を配置して行い、優秀な成績を収めたチームには、文部科学大臣賞以下企業賞などが授与されます。

同大会には、各教育委員会が実施した都道府県大会で選出された47の代表チームが6人1チームで参加し、理科・数学などの複数分野にわたる筆記競技に取り組みます。なお、各地での代表選考には、総計24,070人の生徒がエントリーしました。

大会の概要や出場チームなどの詳細は、別紙、または下記ホームページを参照してください。

日 程 : 令和3年12月3日（金） 開会式、筆記競技
令和4年1月17日（月） 表彰式
場 所 : 各都道府県の会場
U R L : <https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/>

<添付資料>

別 紙 : 「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県代表チーム 一覧
参 考 : 「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」開催概要

<お問い合わせ先>

ラオ ちぐさ、岡田 啓一（オカダ ケイイチ）
科学技術振興機構 理数学習推進部 才能育成グループ
〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル
Tel : 048-226-5665 Fax : 048-226-5684
E-mail : [koushien-jr\[at\]jst.go.jp](mailto:koushien-jr@jst.go.jp)

「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県代表チーム 一覧

都道府県	学校名
北海道	函館ラ・サール中学校 札幌市立向陵中学校
青森県	青森市立南中学校 青森県立三本木高等学校附属中学校
岩手県	岩手大学教育学部附属中学校 宮古市立宮古西中学校
宮城県	仙台市立仙台青陵中等教育学校 宮城県仙台二華中学校
秋田県	秋田県立秋田南高等学校中等部 秋田大学教育文化学部附属中学校
山形県	山形大学附属中学校
福島県	福島県立会津学鳳中学校 会津若松市立第三中学校
茨城県	茨城県立並木中等教育学校
栃木県	栃木県立佐野高等学校附属中学校
群馬県	群馬県立中央中等教育学校 伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
埼玉県	昌平中学校 鴻巣市立川里中学校
千葉県	千葉県立千葉中学校
東京都	筑波大学附属駒場中学校 東京都立小石川中等教育学校
神奈川県	横浜市立南高等学校附属中学校 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校
新潟県	新潟大学教育学部附属長岡中学校 新潟市立白新中学校
富山県	富山大学人間発達科学部附属中学校 砺波市立庄西中学校 富山市立水橋中学校 砺波市立般若中学校
石川県	石川県立金沢錦丘中学校 白山市立鳥越中学校
福井県	福井県立高志中学校 福井大学教育学部附属義務教育学校
山梨県	北杜市立甲陵中学校
長野県	上田市立塩田中学校 安曇野市立穂高東中学校 長野県屋代高等学校附属中学校 信州大学教育学部附属松本中学校
岐阜県	恵那市立恵那西中学校
静岡県	静岡大学教育学部附属浜松中学校
愛知県	海陽中等教育学校
三重県	三重大学教育学部附属中学校 高田学苑高田中学校
滋賀県	湖南市立甲西北中学校
京都府	京都府立洛北高等学校附属中学校
大阪府	大阪星光学院中学校
兵庫県	兵庫教育大学附属中学校 兵庫県立大学附属中学校
奈良県	西大和学園中学校

都道府県	学校名
和歌山県	智辯学園和歌山中学校
鳥取県	湯梨浜学園中学校 鳥取大学附属中学校
島根県	島根大学教育学部附属義務教育学校 雲南市立大東中学校
岡山県	岡山白陵中学校 岡山県立岡山操山中学校
広島県	広島大学附属中学校
山口県	宇部フロンティア大学附属中学校 高川学園中学校
徳島県	徳島文理中学校
香川県	観音寺市立観音寺中学校 香川大学教育学部附属坂出中学校 香川大学教育学部附属高松中学校
愛媛県	八幡浜市立八代中学校 愛光中学校
高知県	四万十市立中村西中学校
福岡県	九州国際大学附属中学校 大牟田中学校
佐賀県	佐賀県立武雄青陵中学校 佐賀県立香楠中学校
長崎県	青雲中学校
熊本県	真和中学校
大分県	平松学園向陽中学校
宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 宮崎日本大学中学校
鹿児島県	鹿児島大学教育学部附属中学校
沖縄県	那覇市立寄宮中学校 大宜味村立大宜味中学校

「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」開催概要

1. 目的

科学の甲子園ジュニアは、理科や数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とします。

2. 全国大会の実施・協力体制

- ① 主催 科学技術振興機構（JST）
- ② 共催 兵庫県、兵庫県教育委員会、姫路市
- ③ 後援 文部科学省、全日本中学校長会、全国中学校理科教育研究会
日本理科教育振興協会
都道府県教育委員会および協働パートナーの協力を得て開催

3. 開催日程

令和3年12月3日（金） 開会式および筆記競技
令和4年1月17日（月） 表彰式
※開会式、表彰式はオンライン配信

4. 場所

競技実施場所は、各都道府県教育委員会が確保した場所

5. 出場チーム

- ① 各都道府県教育委員会は当該都道府県内の全ての中学校などを対象とした全国大会の代表を選考するための都道府県大会を行います。その実施方法は当該都道府県教育委員会の定めによります。
- ② 全国大会出場チームは、1都道府県1チームとします。
- ③ 全国大会出場チームは複数の学校で編成される場合もあります。
- ④ 出場チームは中学1、2学年の生徒（中等教育学校前期課程にあっては同年次の生徒）で構成します。
- ⑤ 出場チームの員数は6人とします。

6. 競技の種類

「筆記競技」

理科・数学などの複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒の修得済みの知識に加え、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決します。

※各都道府県の競技実施場所で、事前に都道府県教育委員会に送付する問題用紙、解答用紙を用いて、都道府県教育委員会による競技監督の下、筆記競技を実施します。

7. 競技の形式

筆記競技は6人1チーム。競技数、競技者数および競技時間は以下の通りです。

種 目	競技数	競技者数	競技時間
筆記競技	1 競技	6 名 / 1 競技	70 分程度 / 1 競技

8. 表彰など

- ① 成績点数の合計によって優勝チームを決定します。
- ② 優勝チームに文部科学大臣賞を授与するほか、成績上位チームについても表彰します。
- ③ 主催者は協賛企業を募り、その他の表彰を授与します。
- ④ 成績上位の出場チームについては、その成績を公表します。

9. その他

- ① 競技は筆記競技のみとなりますが、実技競技の体験を目的とした体験実技の課題を提供します。
- ② オンライン交流ツールを用い、選手同士の交流促進も行います。

以上